

県指定重要文化財

1件



もくぞうじぞうほさつざぞう
木造地藏菩薩座像
(禅定寺・下樽川)

しもたるかわ 下樽川地区にある、ぜんじょうじ 禅定寺にあります。
木製の坐像としては、県内最古ともいわれています。

1240年～1270年代のものとすいてい 推定されます。

目鼻だちが下方に集まって、頭の鉢がはち 開き、少年風ともしょう 称したいふぜい 風情があります。

はんがん 半眼に見開いた眼、強く結んでややつき 出し気味になったくちびるには、ないせいてき 内省的な意志すら感じさせられます。

湯川村指定文化財

26件

こうげい 工芸6件、こうこ 考古1件、しせき 史跡2件、むけいみんぞくぶん かざい 無形民俗文化財1件の村指定文化財があります。

ちようこく 彫刻12件、かいが 絵画4件、



もくぞうとくいつほさつざぞう
木造徳一菩薩坐像
(勝常寺・勝常)



けんほんちやくしよくりょうかいまんだら ず たいぞうかい
絹本着色両界曼荼羅図(胎蔵界)
(勝常寺・勝常)